

Please join us !



— for the city of Osaka —

個人の寄付で創られ、守られた大阪のシンボル  
大阪市中央公会堂

「中之島公会堂」として大阪市民に親しまれている大阪市中央公会堂（以下中央公会堂）。国指定の重要文化財にもなっており、大阪のシンボルのひとつとして誰もが知っている建造物ですが、その歴史についてはあまり知られていないことも多いようです。



市民の寄付により建設される

北に堂島川、南に土佐堀川が流れる中之島の地に建つ中央公会堂は、「義侠の相場師」ともいわれた株式仲買人、岩本栄之助氏の寄付によって建設されました。当時の金額で100万円という私財は、今の金額にすると数十億円に

もなる巨額なもの。

当初は、寄付金を公園や学校の整備などにと、様々な用途が考えられたようですが、岩本氏の母親の「誰にでも使ってもらえるものを」というアドバイスにより公会堂の建設が決まったそうです。

ヘレン・ケラー女史の講演会

建設が決定した後、大正2年（1913）東京駅の設計者・辰野金吾氏と片岡安氏が実施設計し、その春に着工しました。述べ18万4千人の職人と5年の歳月を経て大正7年（1918）10月に完成しました。構造は鉄骨煉瓦造で、地上3階、地下1階建、敷地面積5千641平方<sup>メートル</sup>、建築面積2千164平方<sup>メートル</sup>、延床面積8千425平方<sup>メートル</sup>の規模をもつ、ネオ・ルネサンス様式の建物です。

各部屋の意匠、ステンドグラス、シャンデリア、さらには階段や扉のデザインにまで当時の建築の粋を集めたもので、その大半は今でも当時のままに使われています。建設以来、講演、集会、コンサートや演劇など、著名人から市民レベルまでの様々な催しに利用され、昭和30年（1955）にヘレン・ケラー女史、平成9年（1997）にはゴルバチョフ氏の講演会が開催されました。



大阪市中央公会堂の外観

### 改修費用の大半も市民の寄付から

多くの市民の要望を請け、昭和63年（1988）、大阪府は、老朽化が進み、耐震性も現代の基準を満たさなくなっていた中央公会堂の「永久保存」を決定しました。朝日新聞社が市民募金を呼びかけたところ、約1万3千もの市民や企業がこれに賛同し、7億円あまりの募金が集められました。この募金活動は「赤レンガ基金」と呼ばれました。賛同者の名前が刻まれたレリーフは、現在公会堂の地下1階に飾られています。平成11年（1999）に着工し、平成14年（2002）に完成。中之島の景観に欠かせない中央公会堂が、美しく蘇りました。同年12月には、美しい外観と内部の意匠が、歴史的建築物として極めて重要であるとの評価を受け、国の重要文化財に指定されました。これは、公会堂建築物としては、西日本で初めての事例だったとのこと。

重要文化財で今も市民が使用できる建物はとても珍しいものです。市民により建設され、市民により改修された中央公会堂らしい一面といえるでしょう。

### 中之島倶楽部

公会堂の改修と共に新しくなったレストラン「中之島倶楽部」。レストラン内にも創建当時の意匠がたくさん残り、現代とレトロが交錯する懐かしくも新しい異空間です。200食限定の人気メニューのオムライス（ランチタイムのみ）やデミグラスソースが自慢のビーフシチュー、洋食セットなどフレンチテイストのメニューが味わえます。

普段、よく目にする中央公会堂ですが、今回その歴史を通じて、大阪の文化発信基地として重要な役割を果たしている事を知りました。



大集會室の二階席

### 大阪府中央公会堂

大阪市北区中之島1の1の27

TEL 06・62008・2002

<http://osaka-chuokokaido.jp/>

### 中之島倶楽部

TEL 06・62333・3580

営業時間 9時30分～21時30分

（10時30分）

定休日 第4火曜日（祝日の際は翌日・年末年始等公会堂休館日に準ずる）

<http://osaka-chuokokaido.jp/facility/room/restaurant.html>

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

（株）ファッションビジネス・御堂筋新聞